

第3期行動計画事業一覧

5つの視点	事業名	新規	分野	事業内容	「WE LOVE とよた」ポイント	所管課
①知る	ラムサール条約湿地保全活用事業		自然・景観	希少な動植物が生息する「東海丘陵湧水湿地群」(矢並湿地、恩真寺湿地、上高湿地)を保全するため、市民と共働して湿地環境を整備し、環境学習等を実施する。	市民が国際的に重要な湿地が市内にあることを学び、また自らの手で保全を行うことで、まちへの愛着や誇りを育む。	環境政策課
①知る	身近な水辺の環境意識向上プロジェクト		自然・景観	地域を流れる川を、参加者の感覚(見た目、におい、感触など)によって調査する。	参加者自身の感覚で地域を流れる川に触れることで、身近な水辺への関心や理解を深める。	環境保全課
①知る	子どもまちづくり提案活動の推進		市民・地域	地元への愛着を持つ子どもたちを増やし、将来の小原を支える人材を育てるため、子どもたちが提案したまちづくり活動を支援する。	子どものころから地域活動に参加し、地元への愛着を持つことで、地域の魅力を自分ごととして捉え、将来の地域を支える人材へとつなげる。	小原支所
①知る	豊田市高等学校魅力発見フェスタ		市民・地域	市内の児童生徒が、市内の高等学校・特別支援学校の魅力を知り、進路選択に生かせるよう、各校の生徒がそれぞれの学校の特徴や活動等を発信するフェスタを開催する。	市内の高校の特色ある取組、魅力を発信し、中学生や保護者がその魅力に気付き、市内の高校で学びたいという気持ち・意欲を醸成する。	学校教育課
①知る	WE LOVE とよた教育プログラム		市民・地域	市の豊かな自然、文化財、文化施設などの教育資源を活用し、体験的に学ぶことができる授業例や資料等の教育プログラム集を作成する。	市の豊かな教育資源を活かし、小・中学校での体験的な学び、考え、活動を通して、ふるさとの魅力に気付き、誇りと愛情をもって、未来を力強く生き抜く力を身に着けた「とよたっ子」を育てる。	学校教育課
①知る	とよた元気プロジェクト		すべて	「WE LOVE とよた」をキャッチフレーズに、市の魅力を市内外に伝えるとともに、市内の経済団体と行政による地域内消費喚起を始めとした地域を元気にする取組を推進する。	市の魅力を市内外に伝え、地域内消費喚起を促す。	産業振興課
①知る	とよたの果物PR		農産物	豊田産の果物の魅力を知ってもらうため、豊田プレミアムスイーツクラブ等と連携した取組を実施。	とよたの果物の魅力を市内外に発信し、産地としての「豊田」を知りきっかけとする。	農政企画課
①知る	市内産食材を取り入れた学校給食の提供		農産物	小・中学校で栄養教諭が行う食の指導等の事業との連動性を高め、食育と地元食材の提供を通して、児童生徒が知る取組を充実する。	市内産食材を学校給食に活用し、食に関する指導を通してその背景や意義を伝えることで、市の農畜水産物の豊かさへの理解を深める。	保健給食課
①知る	とよた産業フェスタ		ものづくり	市内の産業、伝統、技術等を一同に集めたイベント。	豊田経済圏の産業、消費諸活動、公共事業、最先端技術を紹介し、「とよた」への市民の関心を高め、地域の活性化を図る。	産業振興課

第3期行動計画事業一覧

5つの視点	事業名	新規	分野	事業内容	「WE LOVE とよた」ポイント	所管課
①知る	先進移動技術等実証事業		ものづくり	次世代自動車や自動運転など先進移動技術の普及促進を行う。	交通における先進技術を楽しく体験し、「クルマのまち」である豊田市らしさを感じられる機会を提供する。	未来都市推進課
①知る	とよたものづくりフェスタ事業		ものづくり	子どもたちが様々なものづくりを体験・体感できるイベントを、ものづくり団体、大学、高校、中学校等と連携して開催。	子どもたちが多様なものづくりを見て、触れて、体験することで、ものづくりのまち・とよたの魅力に気づき、理解を深める。	ものづくりサポートセンター
①知る	ものづくり教育プログラム		ものづくり	小学生を対象に、学校カリキュラムの中で関連付けたものづくり体験を、ものづくりサポーターの支援により実施。	ものづくりサポーターが学校に出向き、身近な材料や工具を用いたものづくりをていねいに指導することで、児童がものづくりの楽しさや基礎的な技能に触れる機会を創出する。	ものづくりサポートセンター
①知る	科学技術教育推進事業		ものづくり	主に中学生・高校生を対象とし、企業、大学、関係団体等と連携したハイレベルのものづくり・科学講座等の開催や生徒の活躍を支援。	高度なものづくりや科学分野の学びに挑戦する機会を通して、生徒が仲間と高め合い、未来の豊田市を支えるエンジニアとしての力を伸ばす。	ものづくりサポートセンター
①知る	稲武養蚕・製糸文化の伝承		歴史・文化	養蚕・製糸文化の普及・振興、後継者の育成、新たな担い手・人材の発掘、新たな産業振興に向けての経済活性化の検討。	歴史ある「赤引糸」の養蚕・製糸文化の周知を図り、未永く後世に伝える。	稲武支所
①知る	博物館学習推進事業		歴史・文化	学校等と市博物館をはじめとする施設が連携・協力し、子どもたちが、郷土の自然や歴史、文化、ものづくりなどの魅力を共有、共感するとともに、学びを深めていくための取組(博学連携事業)を推進する。	子どもたちが郷土の自然や歴史、文化に触れ、学びを深める中で、自ら学び、伝える意識を育む。	博物館
①知る	足助歴史的町並み保存整備事業 (旧鈴木家住宅整備活用)		歴史・文化	重要伝統的建造物群保存地区の町並み保存、地区の中核となる旧鈴木家住宅の保存整備や特別公開等による魅力発信を通じて、歴史的町並みを生かしたまちづくりを推進する。	足助の歴史的町並みや旧鈴木家住宅を通して、地域に受け継がれてきた文化と暮らしの魅力を知る。	文化財課
①知る	みんなでつくりつづける博物館事業		歴史・文化	自然や歴史、文化、ものづくりなど本市の持つ価値や魅力を守り、伝え、継承するための拠点である市博物館を、市民とともにつくりつづけるため、とよはくパートナーの個人パートナーによる常時活動や自主活動、ワークショップ、講座等の取組を推進する。	市民と共につくる博物館づくりを通じて、とよたの自然や歴史、文化、ものづくりの魅力を共有・共感し、次の世代へと受け継いでいく。	博物館
①知る	民芸館・民芸の森と勤八峡の魅力発見		歴史・文化	愛知県内唯一の民芸館として、講座、展示・普及事業などを通じて、勤八峡の豊かな四季とともに県内外にその魅力を発信する。	「愛知県新十名所」である勤八峡、平戸橋の魅力を再発見する。	民芸館

第3期行動計画事業一覧

5つの視点	事業名	新規	分野	事業内容	「WE LOVE とよた」ポイント	所管課
①知る	COME ON! INABU シロキヤラリー		芸術・スポーツ	ラリーを観戦する、競技用車両の技術や楽しさに触れる、地域の資源(食べ物、景観、歴史など)を体験する等のコンテンツを一同に集めたイベント。	「クルマを作るまち」としてだけでなく、「クルマを楽しめるまち」、「モータースポーツが盛んなまち」としての認知度を向上させるとともに、その魅力を発信する。	稲武支所
①知る	おいでんアート体験フェア		芸術・スポーツ	本市の幅広い文化芸術活動を発信し、鑑賞や体験をしてもらうことで文化芸術のすそ野拡大を図る。	文化芸術を通じ、誰もが気軽に本市の魅力に触れ、体験することで、次代の文化の担い手をつくり、生涯活躍できる新たな文化活動のきっかけ作りにつなげる。	文化振興課
①知る	自然観察の森事業	○	自然	都市近郊の里山環境を保全し、自然観察会や小学校向けの環境学習プログラムを実施することで、自然環境学習を推進する。	市民が自然観察の森を訪れ、暮らしの基盤を支える生物多様性について理解を深めることで、住んでいるまちへの愛着が深まる。	環境政策課
①知る	丘KOBIAプロジェクト	○	ものづくり	子どもたちが自動車関連企業のプロと一緒に未来のモビリティを創造し、ものづくりに関連する技術・技能を学びながら、夢をカタチにしていける事業。	未来のモビリティ創造を通じて、ものづくりの技術・技能に触れ、次世代の人材育成につなげる。	ものづくりサポートセンター
①知る	ものづくり体験講座	○	ものづくり	「ものを作る仕事」の魅力を体験的に学ぶ機会を設定し、子どもたちの職業観を育てる事業。	職人の姿や体験活動を通じて、ものづくりを身近な仕事として捉え、自己理解を深めるとともに、将来の職業観の形成につなげる。	ものづくりサポートセンター
①知る	クルマのまち豊田市にちなんだ自動車資料コーナーの運営と関連イベント等の開催	○	ものづくり	クルマのまち豊田市にちなみ、自動車会社の社史、自動車工学の専門書や修理書、モータースポーツ(ラリーなど)に関する本や雑誌、資料を世界中から収集。また、テーマを決めて展示する自動車資料コーナーを常設したり、関連イベントを開催。	自動車資料コーナーや関連イベントを通じて、車や自動車産業への興味・理解を深めるとともに、クルマのまち・とよたへの誇りや、ラリーをはじめとしたモータースポーツを応援する気持ちを育む。	図書館管理課
①知る	なつかし?初めて?とよたの学校給食を食べる会	○	文化	とよたの給食や地産地食への理解を深めてもらうため、市民を対象にした学校給食試食会を開催。	誰もが一度は経験する学校給食は、豊田の大切な文化のひとつ。給食の歴史や地産地食の取組を知ること、身近な食を通してとよたの魅力に改めて気づき、愛着を深める。	保健給食課
②取り入れる	SDGsポイント事業		環境	SDGsにつながる行動の実践に対してポイントを付与(貯めたポイントはSDGsにつながる行動を実践する地元店舗等で使える。)	ポイント利用を通じて、市民や事業者が「意識してSDGsにつながる行動を実践する」きっかけをつくる。	環境政策課
②取り入れる	地域エネルギー活用モデル構築事業		環境	環境負荷の少ない再生可能エネルギーの普及を促進するとともに、エネルギーの地産地消モデルを構築。	地元にある再生可能エネルギー資源に支えられていることに気付くことで、地元がもっと好きになる契機とする。	未来都市推進課

第3期行動計画事業一覧

5つの視点	事業名	新規	分野	事業内容	「WE LOVE とよた」ポイント	所管課
②取り入れる	ふるさとの川づくり事業		自然・景観	子育て世代をターゲットに地域住民による身近な小川の自然再生活動を通して、共働で守り続ける自然豊かな川づくり。	身近な小川を、自分たちの手で創る、育む、遊ぶ。	矢作川研究所
②取り入れる	地産地食の理解・環境づくり推進事業		農産物	市及び市農産物ブランド化推進協議会により、地産地食推進活動を行うとともに、「とよたの農」に関する情報を発信。	市民がとよたの農産物を自身の生活に取り入れていくことで、地域で“食と農”を支える意識を醸成する。	農政企画課
②取り入れる	農とのふれあい推進事業		農産物	市民農園等の運営・開設支援及び農ライフ創生センターで家庭菜園向け初級農作物栽培技術研修を実施し、市民の農業への理解につなげる。	市民農園等の利用や栽培技術研修の受講を通して、農の楽しさを知ってもらおうきっかけとする。	農政企画課 農業振興課
②取り入れる	つけて走って広げよう！ご当地ナンバープレート		すべて	ご当地ナンバープレートを多くの方々に取り付けてもらうための啓発を実施。	豊田スタジアム、四季桜、香嵐渓といった市を象徴する風景が描かれたご当地ナンバープレートの普及により、スポーツや都市と自然が共存するまちの魅力を市内外へ発信する。	交通政策課 市民税課
②取り入れる	山村地域等への移住・定住の促進		都市と山村	健全な地域コミュニティ保持と地域づくりのため、山村地域等の移住・定住者を増やすための支援を実施。	山村地域等の健全な地域づくりや、移住・定住者が地域の魅力を発見することに寄与する。	総合山村室
③発信する	協定協議会による環境取組推進事業		環境	市内の環境保全協定締結企業の環境に配慮した取組やノウハウを、市民や他の市内企業に発信。	環境に配慮した市内工場の取組を発信することで、環境を守るまち・とよたへの理解、誇りを高め、まちへの愛着を深める。	環境保全課
③発信する	豊田市の水道水の安全安心PR		環境	市の水道水や水道施設等を動画配信などで紹介することで、水道水の安全性をPRする。	「市の水道水は安全安心」という理解を広めるとともに、水道水に対してより親しみを持って利用してもらう。	上水運用センター
③発信する	市内観光プロモーションの推進		観光	市民が気軽にレジャーを楽しむことができるよう、市内観光スポット及びイベントの情報を提供する。	市民が本市の観光の魅力をを知る機会を提供するとともに、来訪者が自ら市外に発信することによる更なる観光来訪の広がりを期待。	観光誘客推進課
③発信する	とよたの特産品展		観光	市内の特産品販売やとよたPR大使によるイベントPR、観光スポットの紹介など、市の魅力をPRするイベントを開催。	市内で生産、製造されている地域特産品を市外へ宣伝することにより、市の活性化を図る。	産業振興課

第3期行動計画事業一覧

5つの視点	事業名	新規	分野	事業内容	「WE LOVE とよた」ポイント	所管課
③発信する	まちなかや観光の総合案内「n6(エヌロク)」		観光	情報発信拠点n6(エヌロク)からまちなかや観光の情報を発信。	まちなかや観光の情報を通じて、来訪者に市の魅力を広め、まちを楽しむきっかけをつくる。	産業振興課
③発信する	はたらく人がイキイキ輝く事業所表彰		雇用	働き方改革に対する事業所の取組機運を醸成するとともに、優良事業所の求職者等へのPRを図るため、改革に取り組む市内優良事業所を表彰。	働きやすく働きがいのある職場を、市内外に発信することで、「働く場」としての豊田の魅力を伝える。	産業人材活躍課
③発信する	地域産業の担い手確保支援事業		雇用	とよたの先輩名鑑発行、PR動画作成配信、SNSを活用した市事業PR等の実施。	市内事業所で働く人が、就職を考える若年層等に向けて、その魅力を発信する機会を提供することで、「働く場」としての豊田の魅力を伝える。	産業人材活躍課
③発信する	積み木キャラバン		自然・景観	地域材を中心に使った大量の積み木を持って、キャラバン隊が市内こども園を訪問し、木の魅力や楽しさを伝える。	環境学習施設エコットの育成講座を修了した市民ボランティアがキャラバンの隊員となり、子どもたちに木の魅力や楽しさを伝える。	環境政策課
③発信する	とよたがおふたりのご結婚をお祝いします！		市民・地域	市オリジナル婚姻届・記載例の配布、更に市で婚姻届を提出した記念としてフォトフレーム(市産木材を使用。障がい者福祉施設で作製)をプレゼントする。	市オリジナル婚姻届と、心のこもった手作りフォトフレームで人生の節目を祝福。 とよたで暮らすことの魅力にふれるきっかけをつくる。	市民課
③発信する	SDGs未来都市推進事業		すべて	市博物館の施設を活用し、SDGsの視点から本市が進める取組や先進技術を発信することで、市民が持続可能なまちづくりについて学び、考える機会を創出する。	SDGs未来都市としての取組を知ることで、私たちが暮らす「とよた」の未来を自分ごととして考え、行動につなげるきっかけをつくる。	未来都市推進課
③発信する	とよたを応援！「WE LOVE とよた」のサポーター		すべて	市にゆかりがあり、各分野で活躍している方を「WE LOVE とよたスペシャルサポーター」又は「WE LOVE とよたサポーターズ」に任命し、それぞれの活動を通して市の魅力を発信する。	サポーターによる発信力で、市内外の人にもとよたの魅力を知ってもらおう。	経営戦略課
③発信する	みんなで使おう！「WE LOVE とよた」ロゴマーク		すべて	「WE LOVE とよた」への親しみを深めるため、缶バッジやシールなどの無料グッズ配布等を通じてロゴマークの利用を促進する。	ロゴマークの普及・推進を図り、身近に「WE LOVE とよた」を感じてもらおう。	経営戦略課
③発信する	「WE LOVE とよた」情報をお届け！「WE LOVE とよたステーション」		すべて	「とよた市民活動センター」及び「中央図書館」で「WE LOVE とよた」に関する情報発信や無料グッズの配布等を行う。	「WE LOVE とよた」の発信の中心となる場所で、新たな魅力の発見や交流を促進する。	経営戦略課

第3期行動計画事業一覧

5つの視点	事業名	新規	分野	事業内容	「WE LOVE とよた」ポイント	所管課
③発信する	インスタグラムを使ってとよたの魅力をみんなで発信		すべて	インスタグラムに「#豊田市の魅力発見」又は「#toyotacity_photo」をつけて投稿された写真から「本日の1枚」を市公式インスタグラムで紹介する。	あなただけが知っているとよたの魅力を伝え、広める。	広報課
③発信する	とよたNOW「WE LOVE とよた～とよたのココが好き！」		すべて	ひまわりネットワークの番組「とよたNOW」で、市民に自分の好きなものをボードに書いて宣言してもらう。	あなたの「WE LOVE とよた」をみんなに伝え、広める。	広報課
③発信する	姉妹都市交流事業		すべて	姉妹都市交流(学生派遣、姉妹都市で開催されるイベント等)に参加した市民、学生、姉妹都市関係者等に、現地で市の魅力を発信してもらう。また、交換学生や要人が来豊する際は、市の魅力を体験してもらい、自国で発信してもらう。	姉妹都市交流をきっかけに、市の魅力を自ら伝える経験を通して、地元への誇りと愛着を育む。	多様性社会共創課
③発信する	豊田ものづくりブランド		ものづくり	市内の中小企業・小規模事業者の持つ優れた技術・製品にスポットを当て、一定の基準を満たすものを『豊田ものづくりブランド』として認定し、中小企業の販路拡大などを支援。	市内の中小企業・小規模事業者の持つ優れた技術・製品を、市内外に発信することで、ものづくりのまち豊田市の高い技術力を伝える。	次世代産業課
③発信する	トップスポーツチーム応援事業		芸術・スポーツ	WELOVEとよたスペシャルサポーターである「トヨタヴェルブリッツ」「レッドテリアーズ」「トヨタ自動車硬式野球部」を応援する各種事業を実施。	本市ゆかりのトップスポーツチームを応援することで市民のまちへの愛着を高めるとともに、チームの活躍を通じて「WE LOVE とよた」の機運を高める。	スポーツ振興課
③発信する	定住促進プロモーション事業		都市と山村	定住促進プロモーション「ファースト暮らしとよた」を通じて、市内外の家族形成期世代を中心に市の魅力や住みやすさのPRを実施。	市内での暮らしを具体的にイメージできる情報を発信することで、まちへの共感と愛着を育み、「住みたい」「住み続けたい」という想いにつなげる。	建築相談課
③発信する	空き家・空き地情報バンク事業		都市と山村	空き家・空き地情報バンクに登録された山村地域等の空き家・空き地と移住希望者のマッチングを行い、移住定住を促進。	山村地域にある空き家・空き地を紹介することで、特色ある山村地域での暮らしを伝える。	総合山村室
③発信する	映画・ドラマ等のロケ地誘致による観光PRの推進事業	○	その他	情報発信や受入体制の整備などのロケ誘致活動を通じて、小原地区を映画やドラマ等の映像作品のロケ地として活用し、製作者側やサブカルチャーのファン層を新たな関係人口として取り込む。	ロケ地としての発信により小原地区の魅力を継続的にPRし、製作者側やサブカルチャーのファン層を新たな関係人口として取り込む。あわせて、住民が作品づくりに参画することで、地域への誇りと一体感を育む。	小原支所
④高める	とよたガーデニングフェスタ		自然・景観	フェスタの開催を通じて、市民や事業者の参加を促し、花と緑に親しむ機会を創出。	花を身近に楽しむ意識を高め、花のあるまちづくりを推進することで、花と緑で彩られたとよたの魅力を高める。	公園緑地課

第3期行動計画事業一覧

5つの視点	事業名	新規	分野	事業内容	「WE LOVE とよた」ポイント	所管課
④高める	民有地緑化促進事業		自然・景観	緑化助成制度により、民有地の緑化を促進し、緑あふれる空間を創出する。	緑化の促進により新たな緑を生み出し、市民の生活の中にある緑を増やすことで、とよたの魅力を高める。	公園緑地課
④高める	「冒険！体験！発見！しもやま」推進プロジェクト		観光	「冒険！体験！発見！しもやま」を下山地区観光の統一コンセプトとし、地区内に点在する釣りやキャンプなどの個別のアクティビティを磨き上げるとともに、三河高原アドベンチャー等でパッケージ化することにより、アクティビティ間のつながりや新たなコンテンツを創出。	点在するアクティビティをつなぎ、「冒険！体験！発見！」を合言葉に、下山ならではの自然と体験の魅力を楽しめる観光を広げていくことで、下山地区観光全体の魅力を高める。	下山支所
④高める	河畔環境整備支援事業		自然・景観	水辺愛護会などの市民団体が行う清掃活動や草刈り、生態系保全活動などの河畔環境保全活動を支援し、持続的かつ自発的な活動を推進する。	地域住民が参加し、身近な河畔環境の魅力を高めて次世代につなぐ。	矢作川研究所
④高める	鞍ヶ池公園里地里山整備		自然・景観	地域住民で組織する市民ボランティアにより、鞍ヶ池公園の里地里山エリアを整備する。	当該活動により、豊かな里地里山を育て、とよたの魅力を高める。	公園緑地課
④高める	香嵐渓100年プロジェクト事業		自然・景観	植樹から100年を迎えようとするモミジの再整備や香嵐渓の景観を維持向上させるための取組を実施。	地域住民が香嵐渓の保全活動をすることで、香嵐渓の美しい景観を次の世代に残し、足助への愛着を深める。	足助支所
④高める	四季桜とモミジの育成体制の整備		自然・景観	安心安全な観光施設の管理と、安定的な開花・紅葉を促進させるための調査研究を行い、山全体を捉えた樹体更新と持続可能な管理を推進する。	小原の貴重な財産である四季桜や里山林を守る活動を地域住民主体で行うことで、地域への誇りと愛着を未来にわたり受け継ぐ。	小原支所
④高める	まちなか広場空間活用推進事業		市民・地域	中心市街地の広場(公共的空間)を多く活用させる取組を展開し、活用者の発掘や育成を行いながら、にぎわいを創出。	市内の広場を活用しながら、市の魅力的な人々を発掘し、いつ来ても楽しいまちなかをつくる。	産業振興課
④高める	市民によるアートプロジェクト推進事業		芸術・スポーツ	市民主体の文化芸術活動・発表の場を創出し、文化芸術に関わる人材の発掘・育成を促進する。	様々な文化芸術活動が活発に行われ、多くの市民が文化芸術に親しむことで、まちの魅力を高める。	文化振興課
④高める	企業・大学と連携したスポーツ支援体制の構築		芸術・スポーツ	企業・大学と連携したスポーツ教室等を継続して開催しながら、企業・大学の優れた指導者や環境を活用できる仕組みを構築する。	本市を拠点とする企業・大学の優れたスポーツ指導者やスポーツ環境を、当該企業や大学だけでなく、市民に対しても提供することで、市民がより高いレベルでのスポーツ実施が可能となる。	スポーツ振興課

第3期行動計画事業一覧

5つの視点	事業名	新規	分野	事業内容	「WE LOVE とよた」ポイント	所管課
④高める	Jリーグホームタウン推進事業		芸術・スポーツ	豊田スタジアムでのホーム公式戦の開催に合わせ、来場者を巻き込んだ様々な取組に対する支援等を行い、まちなか全体での盛り上げを行う。	名古屋グランパスの応援や公式戦開催時のまちの盛り上げを通じて、まちのイメージ向上や活力ある日常生活につながる。	スポーツ振興課
④高める	足助の町並みを活用した地域活性化事業	○	歴史	地域と行政が一体となり、足助の町並みにある物件の保存・活用を推進し、足助の魅力を高める。	地域が一体となった町並みの保存・活用を通じて、足助の歴史・文化への理解と愛着を深める。	足助支所
④高める	和紙とうるしの芸術祭事業	○	ものづくり	和紙と漆にかかわるアートの公募展、アート企画展、アーティストインレジデンス、ワークショップなどを開催。	豊田小原和紙工芸の新たな芸術的価値の創造と和紙工芸の産業化を目指し、豊田市ならではのものづくり文化を広めることで定住促進につなげる。	小原支所
④高める	ラリーをいかしたまちづくり事業	○	芸術・スポーツ	市内で開催されるラリー競技をいかし、産業の振興、山村地域の振興、交通安全の推進に寄与する事業を実施する。	世界ラリー選手権が開催されるまちとして、自分たちの住むまちがメディアを通じて日本国内や海外に配信されることで、まちに対する誇りと愛着を醸成する。また、「クルマのまち」、「ラリーのまち」としてのアイデンティティを育む。	ラリーまちづくり推進課
④高める	とよた地域クラブ活動	○	芸術・スポーツ	中学校の部活動に替わり、子どもたちがスポーツ・文化等に親しむことができる機会を整備し、運営。	スポーツや文化活動を通じ、地域の大人とこどもの接点をつくることで、子どもたちの地域への愛着を醸成（地域で子どもが育つ持続可能な環境の実現）	スポーツ振興課
④高める	水源の森探検隊	○	自然	普段あたり前のように使っている水道水に関する山の役割や間伐の重要性などを知ってもらうために、水源地为専門家と巡る勉強会「水源の森探検隊」を開催。	市の水道水源林を受け継ぐ矢作ダム周辺の子もたちが、森やその働きを知ることで、受け継ぐ森林や自分達のふるさとに愛着を持つ。	(上下水)総務課
⑤輪を広げる	みんなでつくる「WE LOVE とよたフェスタ」		市民・地域	世界一わくわくする楽しいふるさとを目指して、とよたをもっと面白くしようと活動してる市民団体等と共働で「WE LOVE とよたフェスタ」を開催する。	「WE LOVE とよた」を象徴するイベントとして、人と人とのつながりの輪が広がる。	とよた市民活動センター
⑤輪を広げる	わくわく事業		市民・地域	地域資源を活用し、地域課題の解決や地域の活性化のために地域住民が主体的に行う取組を支援。	地域住民等が連携して課題解決や活性化に取り組むことで、地域への愛着と誇りを深め、持続可能な地域づくりにつなげる。	地域交流課
⑤輪を広げる	交流館ふれあいまつり		市民・地域	各交流館を拠点に、地元の魅力が詰まったお祭りを地元の実行委員会が企画・運営。	地域住民同士の交流を促進する機会の拡大を図り、多様な市民活動の発展を支援する。	地域交流課

第3期行動計画事業一覧

5つの視点	事業名	新規	分野	事業内容	「WE LOVE とよた」ポイント	所管課
⑤輪を広げる	高齢者の活躍支援事業		市民・地域	高齢者のニーズに合わせて、①1年を通じて様々な学びや体験をする「通年コース」、②具体的な担い手づくりをする「専門コース」、③単発的に様々な学びや体験を行う「はじめの一歩講座」の3コースを実施する。	高齢者が様々な学び・体験や、新たな出会いを通じて地域活動や市民活動につながるきっかけづくりを実施する。	学び体験推進課
⑤輪を広げる	市民活躍応援事業		市民・地域	とよた市民活動センターにて、①場所、②情報、③PR、④相談、⑤研修、⑥助成、⑦交流等の機会を提供し、市民活動団体を応援する。	様々な分野で社会貢献活動を行う団体に、運営・事業の支援メニューを用意し、市民活動団体を応援する。	とよた市民活動センター
⑤輪を広げる	農商工連携・6次産業化推進事業		農産物	農業者所得向上に向け、農商工連携や6次産業化推進補助金にて支援を行う。	農業の高付加価値化や販路の開拓により、新たな魅力の創出や発信、所得向上につなげる。	農政企画課
⑤輪を広げる	地域スポーツ支援事業		芸術・スポーツ	地域でスポーツ推進を行う地域スポーツクラブやスポーツ推進委員の活動を様々な点から支援。	支援を通して身近な地域でのスポーツ機会を創出することで、より多くの市民が地域でスポーツを楽しむことのできる環境を整備する。	スポーツ振興課
⑤輪を広げる	スポーツボランティアの活動促進事業		芸術・スポーツ	ラグビーワールドカップ2019のレガシーを継承し、市民のスポーツボランティアの拡充を図る。	スポーツに関心がある市民が交流を図りながら活動することでスポーツを支え、来場者へのおもてなしや魅力発信につながる。	スポーツ振興課
⑤輪を広げる	山里ひとなる塾		都市と山村	関係人口づくりや地域の担い手育成に寄与する人材育成プログラムを実施。	山村地域をフィールドとした学びを通じて、地域と関わる人を育み、関係人口の創出・拡大につなげる。	企画課
⑤輪を広げる	交流マッチング・コーディネート事業		都市と山村	市と山村の相互の課題解決のため、おいでん・さんそんセンターが、都市部の企業、団体等と山村部の地域住民、団体など、新たな組み合わせによる交流マッチングとコーディネートを実施。	都市部と山村部のそれぞれの強みを生かし、支え合う関係づくりを促進。	企画課